

平成 26 年度第一回艇代表者会議議事録

記録 木村/青葉

日時平成 26 年 4 月 20 日（日）10：30～12：00

場所 MORC 事務所

出席者 18 名（最終頁に記載）

1. 小林委員長挨拶 略

2. 審議

(1) 平成 25 年度事業報告 略

(2) 同 25 年度会計収支報告

- ①今年より各団体の人数に応じて施設使用料を徴収、雑収入として 14 万円を計上。
今後は一団体あたり 2 万円/年の協力を依頼する。
不定期のイベント開催時には 200 円/人の協力もお願いする。
- ②支出では汲み取り料が 25 万円に増加。冬季使用時の水の流入の他、利用学生数の増加も要因。
- ③対策としては七ヶ浜町へ下水管の設置を陳情する。
- ④当期支出が予算 534 万円に対し 401 万円に減少した。陸上部の整備が一段落のため。
- ⑤当期収支差額が 99 万円の赤字を計上したが繰越金で充当した。

(3) 監査報告 武藤監事

特段の問題点は認められないことを報告。

この後、全会一致で 25 年の事業報告、会計収支報告を承認した。

(4) 平成 26 年度予算案審議

- ①フレンドリー会費は小浜フリート扱いとする。(MORC 定款ではフレンドリー会員を認めていないため) また MORC 本部との分担を明確にしていく。
- ②今後の泊地整備の進め方について
26 年度の予算はポンツーンが設置される前提で計上しており、泊地管理費の 36,000 円で整備を進める。従い、ポンツーンの設置と並行して北側アンカーを回収し再利用する。またアンカーの管理は各艇が行なうことで考えている。
- ③同じ規模の金額が繰越金として計上されているが税法上から課税の対象にされる懸念がある。⇒積立金あるいは項目を起こして計上の必要あり。(飯島さん)
- ④小浜フリートの名称について適当な名称に変更することを考えてはどうか。

以上の論議を経て、全会一致で 26 年の事業計画、予算案を承認した。

(5) 小浜フリート運営及び管理細則審議

フリートの運営を円滑に且つ公平に行なうために従来の運営管理規定に細則案を盛り込み審議を行った。

- ① 上架料は一律とする。事務手続きの簡略化のため。
- ② クレーン代については 40ft で分ける。
- ③ 新規艇のアンカー代 20 万円は自己負担とする。
- ④ 年度初めに会員、団体の名簿を作成してパネル化し掲示する。
- ⑤ MORC の細則も見直す。
- ⑥ 小浜フリート細則の修正箇所は次の通り。

・第2条（目的）

次のように修正⇒『この細則は小浜フリートの秩序ある運営管理を行なうことを目的とする。』

・会員名称の変更

18条（会員⇒利用団体）

会員の表現は MORC 会員と紛らわしいので『利用団体』と改める。

また a)正会員は『艇代表者』、b)団体会員は『利用団体』、c)フレンドリー会員は『小浜フレンド』にそれぞれ改める。

以上を盛り込んだ内容で細則を作る。 ⇒ 了承

3. その他

(1) ポイントレースの開催

震災で途絶えていたポイントレースを復活したい。（高橋さん）

これには学生メンバーも加えてすそ野を広げていく。

第1回目 5/25（水）を予定。

(2) ウッドデッキの設置

岸壁東側への設置を検討したい。

以上

出席者名簿は次頁

平成 26 年度第一回艇代表者会議出席者名簿

	氏 名	艇 名
1	木村重男	青葉Ⅳ
2	鈴木明朗	ムーンライトエクスプレス
3	武藤潤隆	グランパ
4	齋藤充也	ノーチラス
5	玉谷昌樹	スーパーウィング
6	飯島俊彦	ヒポクラテス
7	谷内隆司	七小町
8	森田敬一	ベイシュベル
9	阿部 匡	アセーナ
10	佐藤哲哉	アセーナ
11	山下 博	春風
12	赤石 隆	カヤ
13	佐久間重信	オハナ
14	平間公夫	スターズアンドストライプス
15	我妻幸一	クリッパー
16	佐藤 敬	バーネット
17	高橋博之	ミスティ
18	小林恒俊	エスポワール